

■ 特長

- ・モノラルミキシングアンプMCA1120と接続して、スピーカー増設可能
- ・PCA1120単体で、シンプルなBGMシステムにも使用可能
- ・120Wの高出力、ハイ/ローインピーダンス両方に対応(100/70V、2/4/8Ω)
- ・スピーカーEQやHPF 等により各スピーカーのパフォーマンスを引き出しつつ破たんを抑制
- ・各業態に最適な音空間を実現するBGMサウンドモード (BGM、カフェ・クリニック、アパレルの3モード)
- ・EIA規格のラックに適合した1Uハーブサイズ (別売の取付金具は1台置き、2台横連結の双方に対応)

■ 同梱品

- ・アンプ本体
- ・電源コード
- ・5ピンユーロブロック x 2個
- ・取扱説明書 (本書)
- ・安全上のご注意
- ・保証書

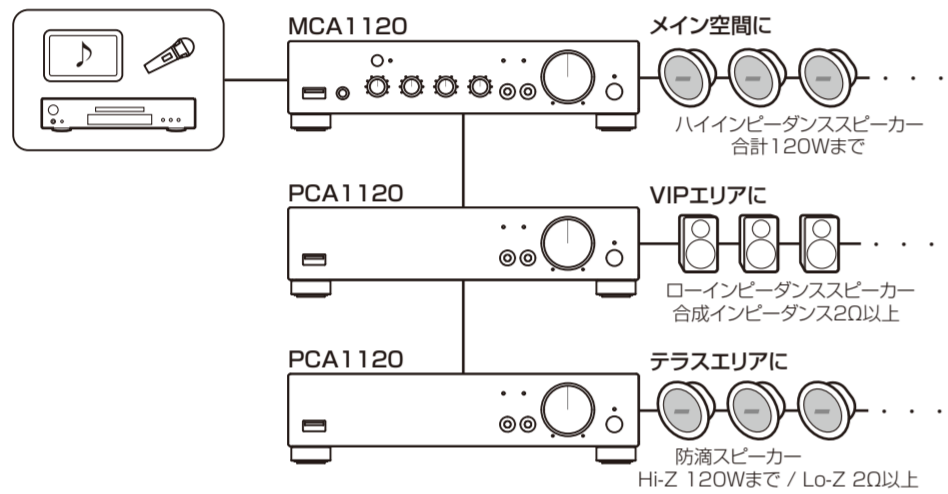
SN 29403543



! 本製品は業務用機器のため、専門の施工業者による設置が必要です。

システム構成例

■ 構成例A：MCA1120のスピーカー増設用にPCA1120を使用する

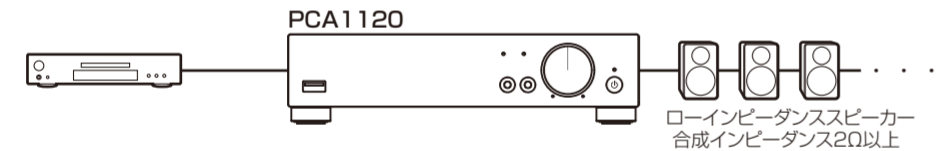


各アンプに違う種類のスピーカーを接続しても音が破たんしない仕様です。MCA1120でシステム全体の音量を調節し、PCA1120でそれぞれのエリアの微調整が可能です。

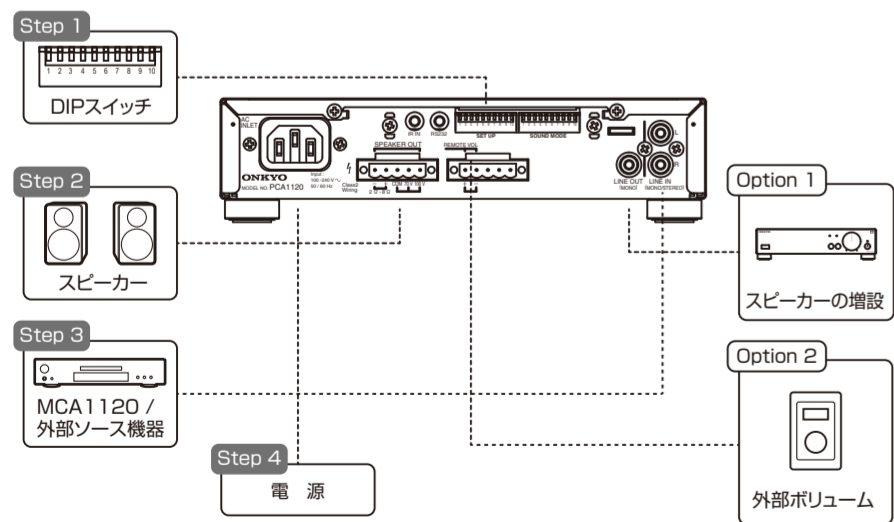
■ 構成例B：PCA1120にサブウーファーを接続して高音質を実現する

PCA1120には、サブウーファーを接続するためのフィルターも用意されています。

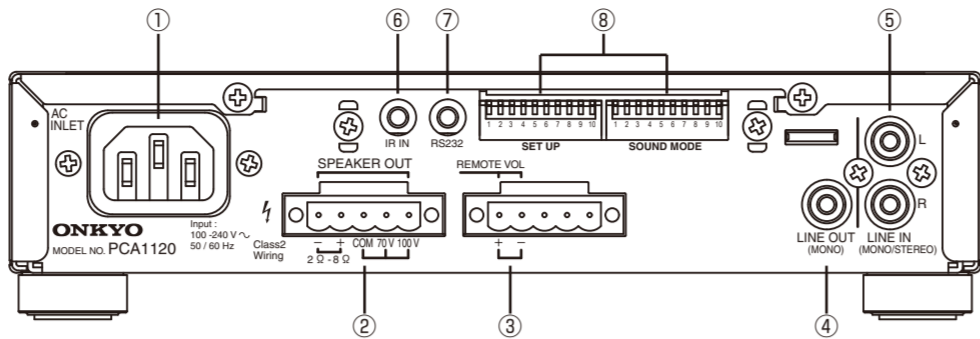
■ 構成例C：PCA1120単体で簡易なBGMシステムを構築する。



設定 Step



各部の名称と機能(リアパネル)



① 電源入力端子 (IEC C13規格、定格 100V-240V 50/60 Hz)

② スピーカー出力端子 (ユーロブロック)
ハイインピーダンスとローインピーダンスでは接続箇所が異なりますのでご注意ください。(⇒Step 2参照)
またDIPスイッチによる設定が必要です。(⇒Step 1参照)

③ リモートボリューム端子 (ユーロブロック)
外部ボリュームを接続することで、本体とは別の場所でもボリューム調節ができるようになります。

④ LINE OUT 端子 (RCAモノラル)
モノラル出力端子です。RCAケーブルを使用して、別のPCA1120などの増設用/パワーアンプを接続できます。

⑤ LINE IN 端子 (RCAステレオ)
RCAケーブルでMCA1120や、外部ソース機器と接続します。

⑥ IR IN (3.5mmミニジャック モノラル or 2極)
外部リモコン受光ユニットを接続する端子です。

⑦ RS232 (3.5mmミニジャック ステレオ or 3極)
外部コントロールシステムを接続する端子です。
誤動作を防止するため、RS232ケーブルを抜き挿しする際は電源コードを抜いてください。

⑧ DIPスイッチ (10P x 2個)
各種の設定に使用します。(⇒Step 1参照)

Step 1：DIPスイッチの設定

■ SET UP DIPスイッチ

重要：安全にご利用のため、必ず正しく設定してください。
SET UP DIPスイッチは、電源プラグを抜き20秒以上待って挿し直すことで設定が反映されます。
DIPスイッチ操作後に電源プラグを抜かず使用すると、設定が反映されず接続機器を破損させる恐れがあります。

DIPスイッチ1：[Keylock]
[⊙] 電源ボタンとマスターボリューム以外のフロントパネル操作をロックします。

1	<input type="checkbox"/> アンロック (ロックしない)
	<input type="checkbox"/> ロック

DIPスイッチ2：[Auto Standby]
LINE IN に音声入力がなく、かつ本機を2時間操作しなかった場合、自動的にスタンバイ状態にします。

2	<input type="checkbox"/> Off
	<input type="checkbox"/> On

DIPスイッチ3：[Auto Power On]
スタンバイ中にLINE INの信号を検出すると、自動的に電源をオンにします。

3	<input type="checkbox"/> On (LINE IN)
	<input type="checkbox"/> Off

DIPスイッチ4：[使用しない]

DIPスイッチ5：[Volume Control]
本機以外のボリュームコントローラーを使用する場合は、外部ボリューム(10kΩタイプ)または外部リモコン受光ユニット(IR)のいずれかを選択してください。

5	<input type="checkbox"/> 外部ボリューム(10kΩタイプ)を使用 または 外部コントロールを使用しない
	<input type="checkbox"/> リモコン受光ユニット(IR制御)を使用

DIPスイッチ6, 7：[IR Code]
外部リモコン受光ユニット(IR)を本機以外の弊社製品(Onkyoブランド)用にも兼用する場合、誤動作と混線を防ぐため、本機のリモコンコードのIDを切り替えます。
MCA1120のIDは変更できませんので、MCA/PCAのシリーズで使用する方はPCAのIDを変更してください。

6 7	<input type="checkbox"/> ID 1 (MCA1120と同じ)
	<input type="checkbox"/> ID 2
	<input type="checkbox"/> ID 3

DIPスイッチ8：[SPEAKER OUT]
スピーカー出力をハイインピーダンスかローインピーダンスに切り替えます。

8	<input type="checkbox"/> ハイインピーダンス (70V / 100V)
	<input type="checkbox"/> ローインピーダンス (2Ω / 4Ω)

! とても重要な設定です。DIPスイッチの設定とスピーカーのインピーダンスが合っていないと故障や火災の原因となります。

DIPスイッチ9：[Speaker Lo-Z]
SET UP DIPスイッチ8：[SPEAKER OUT]をローインピーダンスに設定した場合は、より詳細な設定が必要です。複数台のスピーカーを接続する場合、合成インピーダンスを設定してください。
8Ωスピーカー2台なら合成インピーダンスは4Ω、4台なら2Ωとなり、接続台数によって設定が異なります。

9	<input type="checkbox"/> ローインピーダンス 4Ω以上
	<input type="checkbox"/> ローインピーダンス 2Ω以上 4Ω未満

! とても重要な設定です。DIPスイッチの設定とスピーカーのインピーダンスが合っていないと故障や火災の原因となります。

DIPスイッチ10：[使用しない]

■ SOUND MODE DIPスイッチ

より良い音でご利用いただくためのオプション設定です。
SOUND MODE DIPスイッチは、電源がオンのままでも設定変更が反映されます。
音質を確認しながら設定を変えることができます。

DIPスイッチ1：[Music Optimizer]

MP3などの圧縮音声をより良い音質にする効果があります。

1	<input type="checkbox"/> Off
	<input type="checkbox"/> On

DIPスイッチ2：[Subwoofer Mode]

本機のSPEAKER OUT端子にサブウーファーを接続する場合は[On]に設定してください。
この場合、SOUND MODE DIPスイッチ3, 4, 5：[HPF]の設定値は、通常のハイパスフィルターではなく、ローパスフィルターの設定値となります。

2	<input type="checkbox"/> Off
	<input type="checkbox"/> On

DIPスイッチ3, 4, 5：[HPF](High Pass Filter)

本機の用途によって設定が異なります。

● MCA1120のスピーカー増設用 または 本機単体使用 の場合
本機に接続するスピーカーに合わせて、ハイパスフィルターを設定してください。

● MCA1120のサブウーファー出力用として使用する場合
DIPスイッチ2：[Subwoofer Mode]を[On]に設定すると、本設定はサブウーファー出力用のローパスフィルターの設定に変わります。

3 4 5	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 50 Hz
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 40 Hz
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 60 Hz
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 70 Hz
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 90 Hz
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 150 Hz
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 200 Hz
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Off (フィルターを使用しない または スピーカーEQを使用する)

Note：ハイインピーダンスのスピーカーを使用する場合は、[HPF]を[Off]にしないでください。
アンプの保護機能が働く可能性があります。

DIPスイッチ6, 7：[BGM Mode]

設置環境に合わせたサウンドモードを選択します。
MCA1120の増設用として使用する場合は、[Off]に設定してください。
MCA1120で設定した[BGM Mode]の効果はPRE OUT音声に反映されるため、本機での設定は不要です。

6 7	<input type="checkbox"/> Off MCA1120の増設用
	<input type="checkbox"/> カフェ・クリニックモード 飲食店・クリニック向き 心が安らぐ空間を演出
	<input type="checkbox"/> アパレルモード 衣料店向き 活気ある空間を演出
	<input type="checkbox"/> BGMモード 多くの物販店向き 心地よい空間を演出

Note：MCA1120とはDIPスイッチの設定値と対応するモードが異なりますのでご注意ください。

DIPスイッチ8, 9, 10：[Preset EQ for Loudspeaker](スピーカーEQ)

スピーカーに合わせてEQを設定します。

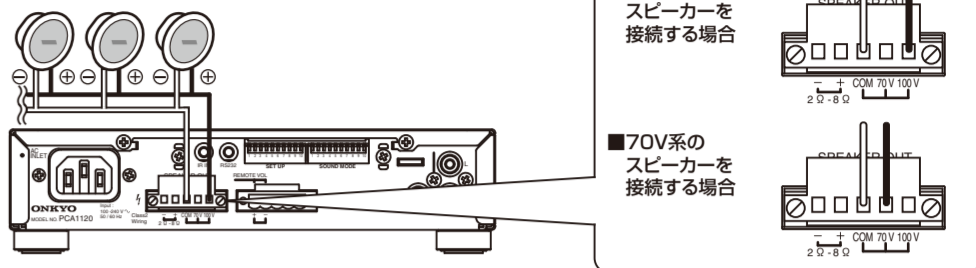
8 9 10	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Off
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Type 1：Onkyo用リザーブ
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Type 2：Onkyo用リザーブ
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Type 3：Onkyo用リザーブ
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Type 4：Onkyo用リザーブ
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Type 5：B16
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Type 6：B40
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Type 7：J24CTM

Step 2：スピーカー接続

! スピーカーの設定/接続には細心のご注意を。
これらを間違えると、故障や火災の原因となります。

- ・電源コードは最後に接続します。ここではまだ、電源コードは接続しないでください。感電の原因となります。
- ・ご使用になるスピーカーのインピーダンスに合わせて、DIPスイッチの設定とユーロブロックの接続位置を確認してください。これらを間違えると重大な事故につながる可能性があります。

■ ハイインピーダンススピーカー接続

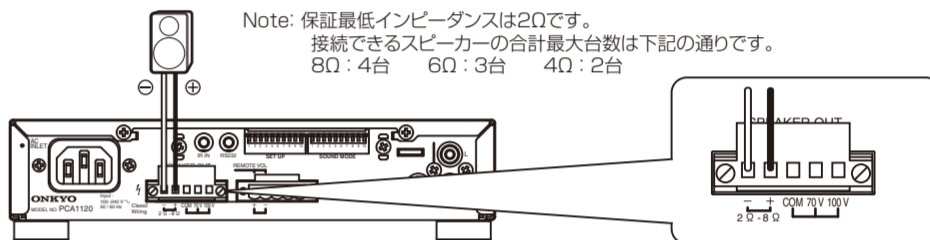


1. SET UP DIPスイッチ8：[SPEAKER OUT]を[ハイインピーダンス]に設定する。

2. SPEAKER OUT の [100V]端子 または [70V]端子とスピーカーの[+]端子、SPEAKER OUT の [COM]端子とスピーカーの[-]端子をスピーカーケーブルで接続する。

- ・70V系と100V系を同時に接続しないでください。
- ・接続するスピーカーの定格入力の合計は、必ず120W以下に収めてください。

■ ローインピーダンススピーカー接続



1. SET UP DIPスイッチ8：[SPEAKER OUT]を[ローインピーダンス]に設定する。

2. SPEAKER OUT の [+]端子とスピーカーの[+]端子、SPEAKER OUT の [-]端子とスピーカーの[-]端子をスピーカーケーブルで接続する。

- ・ローインピーダンスのスピーカーをハイインピーダンス用端子に接続しないでください。
- ・複数のスピーカーを接続する場合、合成インピーダンスがSET UP DIPスイッチ9：[Speaker Lo-Z]で設定した値の範囲内でご使用ください。

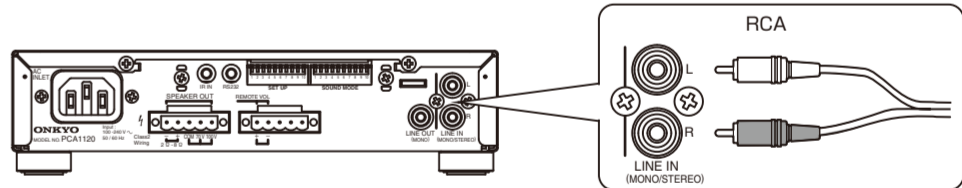
■ サブウーファーを接続する場合

サブウーファのインピーダンスを確認し、スピーカー接続と同様に上記のどちらかの手順で接続してください。

Step 3：MCA1120または外部ソース機器接続

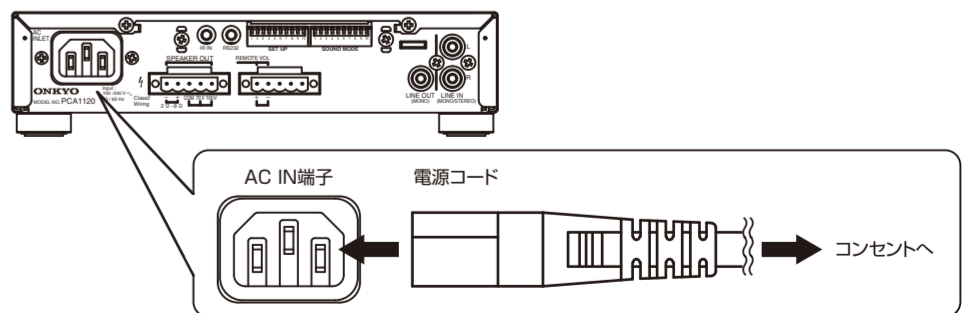
ステレオ信号は、内部でモノラルにミキシングされます。

■ LINE IN接続



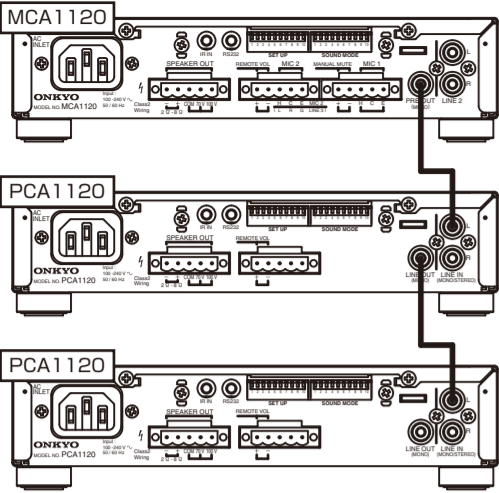
・MCA1120や外部ソース機器の出力をRCAケーブルでLINE IN 端子に接続する。
モノラル機器を接続するときは、L/Rどちらかの端子に接続してください。

Step 4：電源接続



・付属の電源コードをAC電源入力端子に接続し、電源プラグをコンセントへ挿し込む。

Option 1：MCA/PCAシリーズを使ったスピーカーの増設



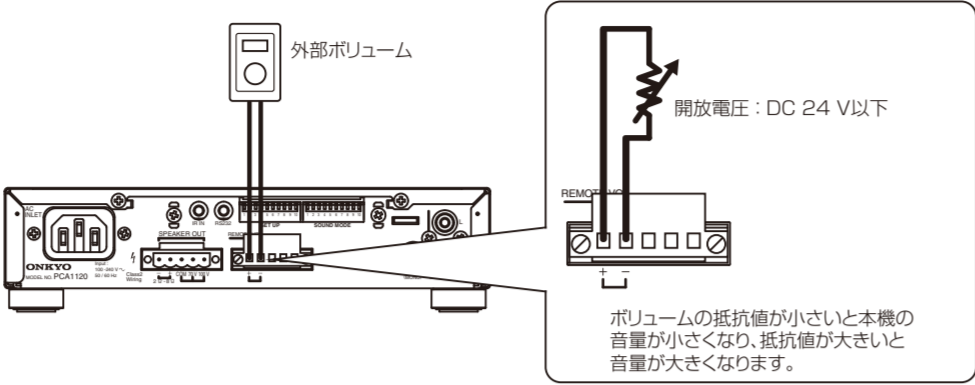
- MCA1120のPRE OUT端子とPCA1120のLINE IN端子のL/RどちらかをRCAのモノラルケーブルで接続する。
- PCA1120の取扱説明書に従い、DIPスイッチの設定とスピーカーの接続を行なう。
- 更に拡張する場合は、PCA1120のLINE OUT端子から次のPCA1120にシリーズに接続する。

MCA1120とPCA1120をペアで使用するメリット

- MCA1120とPCA1120を接続することで、スピーカーの本数を増やしたり、低音を増強するなどの多彩なシステム拡張が可能
- MCA/PCAは独立でスピーカーEQやHPFの設定ができるため、それぞれに別品種のスピーカーを接続可能
- MCA1120のリアウトはボリューム連動するため、スピーカーを増設してもシステム全体の音量調整がしやすい
- PCA1120のボリューム位置を中央(12時)にするとMCA1120と音量が揃い、各スピーカーのレベルを合わせやすい
- エリアごとにPCA1120を使用すれば、それぞれ独立して音量調節することも可能

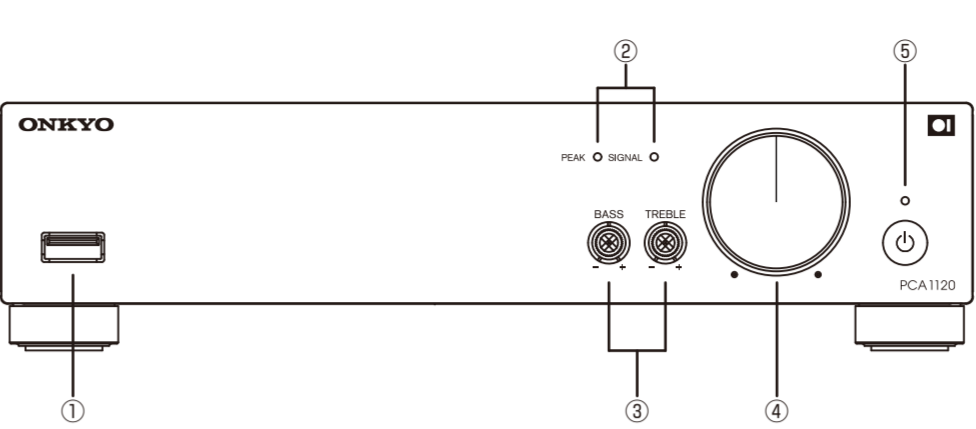
Option 2：外部ボリューム制御

市販の外部ボリューム(10kΩ、Bカーブタイプ)を接続して、本機の出カレベルを制御できます。外部ボリュームと本機のマスターボリュームは掛け合わせ動作のため、どちらかのボリュームを絞ると、それ以上の音量が出ません。



- SET UP DIPスイッチ5:[Volume Control]を[外部ボリューム(10kΩ)]に設定する。
- 市販の外部ボリューム(10kΩ、Bカーブタイプ)を接続する。

各部の名称と機能(フロントパネル)



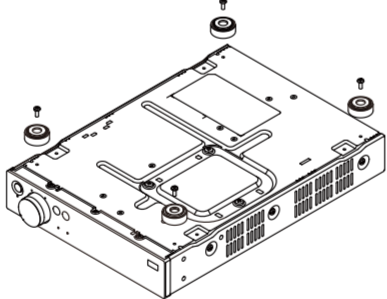
- USBサービス用端子**
通常は使用しません。
- SIGNAL / PEAKインジケータ**
SIGNALインジケータ
スピーカー出力レベルがしきい値(定格出力から-46dB近辺)以上になると点灯します。音量が小さい場合は点灯しないこともありますが、目安ですので問題ありません。ミュート時には点滅します。(IR INまたはRS232接続のコントローラーによりミュートできます。本機ではミュート操作はできません。)
PEAKインジケータ
スピーカー出力レベルがピーク(定格出力から-3dB近辺)に達した場合に点灯します。常灯している状態では、音声が歪む可能性がありますので、音量を調節してください。
- BASS / TREBLEコントロール**
BASS (低域)とTREBLE (高域)の音量をそれぞれ-10dB~+10dBの間で調整できます。小型のドライバーなどで操作してください。
- マスターボリューム**
スピーカーに出力する音量を調節します。MCA1120と接続した場合は、12時の位置でMCA1120とほぼ同じ音量になります。
- [◎] 電源ボタン / インジケータ**
電源のスタンバイとオンを切り替えます。インジケータは、以下のように点灯します。
スタンバイ時 赤色
オン時 緑色

設置について

- 通気孔をふさがないでください。
- 大音量で長時間再生すると、温度上昇により保護機能が働き、音量が下がる場合があります。

■ ラックマウントの場合

- 本機の底面にねじ止めされている足4本を外す。

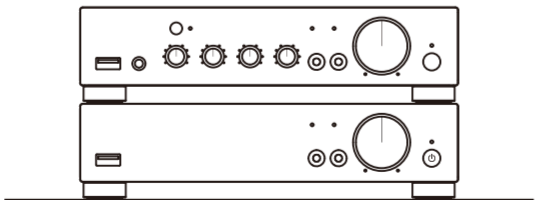


- 別売のラックマウント金具[IRK-44-3]の取扱説明書に従い、本機に取り付ける。

- 本機をラックに固定する。

■ 重ね置きする場合

重ね置きをする場合は、上部に十分な放熱用の空間を確保してください。また、機器同士が接しないよう、付属の足は外さないでください。



困ったときは

症状	原因	対策 / 手順
電源が入らない	電源コードが抜けている。 機器の保護機能が働いた。	電源コードを接続してください。 電源プラグを抜き、スピーカー接続を確認してください。 その後、数分してから電源を入れ直してください。
Auto Power Onを設定しているのに、電源が入らない	再生しているがタブレットや外部ソース機器の出力レベルが小さい。	タブレットや外部ソース機器の音量を上げてください。
すべての入力で ・音が出ない ・音が小さい ・音が歪む ・雑音がる	[マスターボリューム]のレベルが適切でない。 接続したスピーカーの特性、スピーカーの設定、接続した端子が合っていない。	[マスターボリューム]を適切な位置(目印か中央付近)に戻してください。 本機とスピーカーの、インピーダンスの設定/接続を合わせてください。 また、以下の点を確認してください。 ・最大定格を超える機器を接続していないか ・複数台のスピーカーを接続している場合、合成特性(合計ワット数や合成インピーダンス)が本機の定格を超えていないか
	Bass / Trebleの効果が極端な設定になっている。	[Bass] / [Treble]コントロールで適切な状態に調整してください。
インジケータが点滅し ・電源が入らない ・音が出ない ・音が途切れる	接続したスピーカーの特性(仕様)、スピーカーの設定(DIPスイッチ)、接続した端子(ロープロック)が合っていない。	本機とスピーカーの、インピーダンスの設定/接続を合わせてください。 また、以下の点を確認してください。 ・最大定格を超える機器を接続していないか ・複数台のスピーカーを接続している場合、合成特性(合計ワット数や合成インピーダンス)が本機の定格を超えていないか
本機のマスターボリュームを回しても一定の音量以上、上がらない。	スピーカーケーブルがショートしている。	スピーカーケーブルの接続を見直してください。
	機器内部の温度が異常に高くなっている。	電源プラグを抜いて風通しのよいところに放置し、数分後に電源を入れ直してください。 放熱孔をふさがないよう注意し、温度が上昇しにくい場所に設置してください。
操作ができない。	操作ロックが設定されている。 電源ボタンとマスターボリューム以外の操作ができない。	SET UP DIPスイッチ1 : [Keylock]の設定を[Unlock]にしてから、電源プラグを抜き20秒以上待って挿し直してください。
動作が不安定	—	本機を再起動すると改善することがあります。 電源が入っている状態で、電源ボタンを5秒以上押しと、赤色のスタンジ(インジケータ)が点滅しますので、ボタンを離してください。

「困ったときは」について、より詳細な情報をWebに掲載しています。
http://www.jp.onkyo.com/audiovisual/installation/pro_ampfire/pca1120/contractor.htm
それらを参照しても症状が改善しない場合は、オンキヨーオーディオコールセンターへお問い合わせください。

冷却用ファンなど一部の部品は消耗品のため、劣化に応じて部品の交換が必要になります。交換については、お買い上げ店またはオンキヨーオーディオコールセンターまでご連絡ください。

主な仕様

Speaker Output	Lo-Z (2Ω)	Lo-Z (4-8Ω)	Hi-Z (70, 100V)	測定条件 / Measurement Condition	
定格出力 / Rated Power	120W x 1ch	120W x 1ch(4Ω) 80W x 1ch(6Ω) 60W x 1ch(8Ω)	120W x 1ch	1kHz	
全高調波歪率 / THD+N	≦0.5 %	≦0.5 %	≦1.0 %	1kHz @ Full Rated Power	
周波数特性 / Frequency Response	20 Hz - 20 kHz(+0dB, -6dB)			Reference 0dB @ 3W, 1kHz	
SN比 / Signal-to-Noise Ratio	≦-90dB			with IEC-C filter	
Input	LINE				
入力端子 / Input Terminal	Stereo RCA Unbalanced	---	---	---	---
排他入力 / Exclusive Input	---	---	---	---	---
入力感度 / Input Sensitivity	-10dBV	---	---	---	---
入力インピーダンス / Input Impedance	14kΩ	---	---	---	---
Output	Lo-Z (2Ω)	Lo-Z (4-8Ω)	Hi-Z (70V)	Hi-Z (100V)	LINE OUT
出力端子 / Output Terminal	Euroblock Balanced (-/+)		Euroblock Balanced (COM / 70 or 100V)		Monaural RCA Unbalanced
最大出力レベル / Max. Output Voltage	15.5Vrms	22Vrms	70Vrms	100Vrms	1Vrms
定格負荷 / Rated Load	2Ω	4-8Ω	41Ω	82Ω	2kΩ

総合 / General	
使用温度範囲 / Operating Temperature	0 - 40 °C @ Non-condensing (結露無きこと)
電源 / Power Supply	AC100 - 240V(50/60 Hz)
消費電力 / Power Consumption	215W @ Rated Power, 10W @ Idling
外形寸法 / Dimensions	1 RU high (w/o Feet), half rack wide 8.5 W x 2.2 H x 12.6 D [inch](w/o legs 1.75H) 215 W x 55 H x 319 D [mm](w/o legs 44.5H)
本体質量 / Product Weight	3.6kg(7.9lbs)
別売オプション / Option	Mixing Power Amplifier : MCA1120 Rack Mount Kit : IRK-44-3

仕様および外観は予告なく変更することがあります。

MEMO

ONKYO
INSTALLATION

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：
オンキヨーオーディオコールセンター ☎050-3161-9555
受付時間 10：00～18：00 (土・日・祝日・弊社のでめる休業日を除きます)

オーディエス株式会社
〒101-0041
東京都千代田区神田須田町 2-5

©ODS Corporation all rights reserved.

Printed in Malaysia